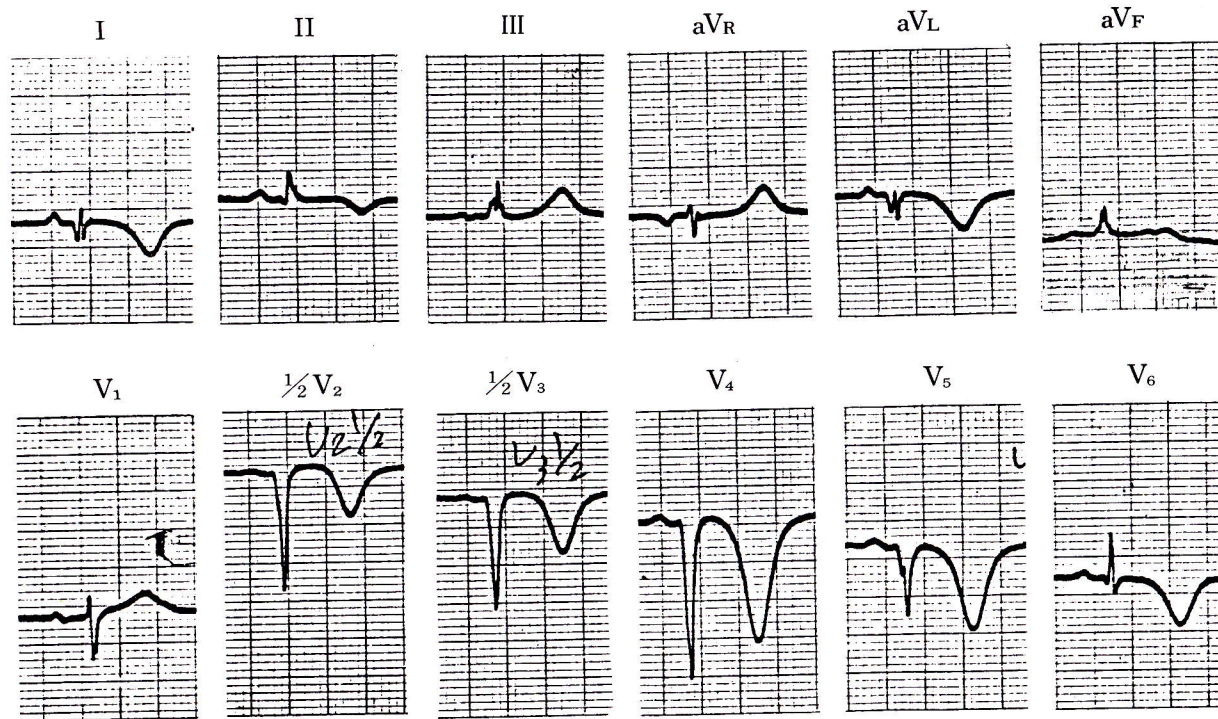


症例 38

●72歳 男

● 1 ヲ月前に胸痛を主訴に入院した。現在，自覚症状なし。



1) 心電図からみた梗塞発症の時期は 1 ヲ月前のエピソードと矛盾しないか。

前壁梗塞（亜急性期）

I, II, aVLに幅広い異常Q波, V₂~₅にQSパターンが見られるがST上昇はない。しかし, I, II, aVL, V₂~₆に左右対称形の深い陰性T波がみられる。これは冠性T波と呼ばれ, coronary accidentに特有の所見である。すなわち, これ

らの所見は心筋梗塞亜急性期の特徴であり, 1ヵ月前のepisodeと矛盾しない。梗塞部位は前壁を中心に高位側壁にまで広がっていると考えられる。

MEMO

〈梗塞心電図の時間的経過〉

梗塞心電図の特徴は, QRS波, ST部分, T波それぞれが一定の時間関係をもって変化することにある。右図はその変化を図示したものである。症例によりかなりの時間的ばらつきはみられるが, T波増高, ST上昇, Q波の出現, T波の終末部陰転, ST部分の等電位線への復帰, 冠性T波の順序をもって変化していく。1ヵ月後以降は非常に緩徐ながら, 冠性T波が陽性T波に変化していき, 陳旧期を向かえるようになる。

